

「仕事」にも不思議な効力がある！

49. 仕事ができる人の “ひらめき” 成功習慣

思いつきを大切にしてください。それはいつも積極的で強力なエネルギーを伴って現われるからです。

物事を慎重に考えるのは悪いことではありませんが、新しいことや大きな成果をあげた事例を調べていくと、思いつきやひらめきによるものが非常に多いものです。この事実をしっかりと記憶にとどめておく必要があります。

人はともすれば慎重に考えたほうが正しい考え方ができるし、失敗も少ないと考えがちですが、一つ大切なことを忘れてしています。それは熟慮がほとんど顕在意識の作業なのに対して、思いつきやひらめきは潜在意識からのメッセージであることが少なくないことです。

「そんな思いつきでやってはだめよ」と言う人がいますが、思いつきやひらめきを軽く見ることはできません。過去の偉大な発明や発見の多くは、思いつきやひらめきのたまものなのです。

ただ、思いつきやひらめきはいつ出てくるか予測が付きません。だから「大切さが理解できても、そればかりを当てにするわけにはいかない……」と戸惑いを覚える方がいるかも知れません。そういう人のために一つよい方法を披露します。

それは自分が抱える課題について、つねに考え抜いていることです。いまずぐ結論や解決策が出そうもないと「後で考えよう」と先送りする傾向がありますが、それではダメです。

よい考えが浮かばなくてもいいですから、こだわってその課題について考え続けるのです。リンゴが木から落ちるのを見て万有引力のヒントを得たニュートンも、お風呂の中で「わかった！」と叫んで裸で飛び出したアルキメデスも、自分の抱える課題を考え抜いていたからこそ、ひらめいたのです。

つまりひらめきや思いつきのためには、つねに考え続けるという作業が必要なのです。考え続けるとひらめくことを科学的に解き明かそうという試みも、最近行なわれるようになりました。それをセレンディピティー（掘り出し物を見つける才能）と言いますが、これは潜在意識の働きとってよいと思います。自分の抱えた課題について考え抜くことは、つねに潜在意識に刻印する作業にはほかなりません。そうすると潜在意識から「こうしたらいいのでは……」という応答がある。それが思いつきやひらめきの正体と考えられるのです。
